

研究課題名「小児、思春期・若年成人における同種造血細胞移植後の晩期消化管合併症と漢方医学の役割についての解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年1月1日から2020年12月31日まで名古屋大学医学部附属病院小児科で同種造血細胞移植を受けた小児、思春期・若年成人の方です。

2. 研究背景・意義・目的・方法・研究期間

同種造血細胞移植は多くの血液・悪性疾患で根治療法でありその合併症を克服することは重要です。同種造血細胞移植後、100日経過したあと（晩期）に見られる消化管合併症は移植後長期入院の要因となりうると予想されますが、これまで十分に研究されておらず、世界的にみても小児、思春期・若年成人においては特に実態が不明です。そこでその臨床的特徴を後方視的に検討するとともに病因、発症リスク因子、治療の実際などを明らかにしようとするのが本研究の目的です。また当院小児科では移植認定医かつ漢方専門医による漢方治療が造血細胞移植療法に併用して行われきており、この治療効果について検討することも本研究の目的となります。研究期間は生命倫理審査の決裁後から2022年3月31日までを予定しています。

3. 研究の方法、研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報（年齢、性別、身長・体重、原疾患とその治療内容、消化管内視鏡検査、微生物学的検査、画像検査、疾患予後など）と消化管合併症に対する治療法や治療反応性を集計して、統計学的手法を用いて検討します。過去のデータを調べる研究であるため、新規での血液などの検体採取や医療面接などは行いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、解析終了後または学会・論文での発表後はデータを削除できないことがあります。

照会先：名古屋大学医学部附属病院小児科 川島 希（研究責任者）

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2294 FAX 052-744-2974